

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 農業農村整備事業

箇所名: 西浦みかん足保久料地区

照会者: 受益者(各集落の地元役員・若手農家) 10名

担当課: 農地整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	寿太郎みかんは貯蔵庫での熟成が必要で、収穫や貯蔵庫への搬出入、貯蔵期間中の毎日の品質管理に労力がかかる。農道整備により作業労力が低減されることが期待される。	営農条件の改善に大きく寄与する幹線農道と支線農道の整備について、引き続き早期完成を目指して事業を推進します。
2	事業継続を要望	51号幹線農道が完成し、元々道がなかった畑に車で乗り入れが可能になったため営農効率が劇的に改善された。収穫時期に手伝い人に直接乗用車で来てもらえるようになった。	
3	事業継続を要望	流末の排水対策はしっかり行っただうで、農道の早期の事業完了を図ってほしい。	農道整備に伴い必要となる流末排水路については、農道の施工に先行して整備を進めているところです。施工中も含め引き続き排水対策を行い事業を実施します。
4	事業継続を要望	農道整備と併せて、畑に土を搬入していただき、以前よりも使い勝手がよくなり、作業効率が上がった。	今後も引き続き、建設発生土を生かして、優良農地を生み出していきます。
5	事業継続を要望	農道整備により、営農に要する時間が大きく低減され、農園の規模拡大や、収穫、出荷最盛期以外に別の仕事に掛ける時間も増え収入の安定に繋がっている。	地域の営農計画や農地集積が早期に実現できるよう、引き続き、地域との調整を図り早期完成を目指して農道事業を進捗します。
6	事業継続を要望	新規開削区間が開通すれば、選果場へのアクセスが劇的に改善され、また、他集落にある畑へのアクセスも容易になる。今後改植や規模拡大を計画しており、開通を大いに期待している。	
7	事業継続を要望	現況の道路状況では貸し出しが困難で、このままでは廃園となる恐れが高く、農道改良が地域の喫緊の課題。農道ができれば、園地の継続性が劇的に改善される。	
8	事業継続を要望	パイプラインが開通すれば、畑近くの給水スタンドから水が供給でき防除作業の手間が改善されるので、パイプラインの事業を進めてほしい。	
9	事業継続を要望	営農環境の改善ももちろんだが、津波時の住民の緊急避難路としての役割に期待しており、幹線農道の開通は切実な要望である。確実に事業の推進を図ってほしい。	農道を「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023」の「避難路」に位置付け整備しており、防災対策等の効果も見込めるという地域からの期待に寄与できるよう、一層の早期完成を目指してまいります。
10	事業継続を要望	山火事の際の消防車の連絡経路や津波への緊急避難路としても期待している。	

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 農業農村整備事業

箇所名: みらい伊豆地区

照会者: 各工種 役員・関係者等

担当課: 農地保全課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を希望	農業用排水 老朽化による漏水で、水量があまり流れなかった水路に水が来るようになった。今までの感覚で目いっぱい取水していたら流れすぎて水路から水が溢れたこともあった。水の心配はなくなった。	整備効果について貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。なお、地元で行う水路の管理には多面的機能支払交付金が活用できる。適切な利用と維持管理に努めていただきたい。
2	事業継続を希望	農道 ・徒歩のみの通作路に車を横付けできるようになり、作業は楽になった。 ・待避所の設置や、老朽化した橋の架け替えは以前からの地元要望であり、早期の完成を求む。	整備効果について貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。整備中の路線については、用地買収補償が完了しているため、早期の完成を目指し、引き続き事業の推進に努める。
3	事業継続を希望	農道(モノレール) ・これまで徒歩移動であった山の中のわさび田への移動や荷運びがとても楽になった。 ・今の計画には無い老朽化路線の更新要望も山葵組合に上がってきている。追加整備はできないか。	整備効果について御貴重な意見をいただき感謝申し上げます。本事業で計画されている農道(モノレール)はすべて完了しているため、別事業にて実施することを提案する。県では、本年度からわさび田の農道(モノレール)を単独で整備することが可能な新規制度を創設した。地元要望を取りまとめた上で、本地域に適した事業を地元にて提案し、推進に努めていく。
4	事業継続を希望	鳥獣害防止柵 ・鹿の獣害が多い。急傾斜地等、個人の力で獣害防止柵を設置するには難しい地域もあるため、公共事業で設置していただけたのはありがたい ・台風による倒木で、獣害防止柵は毎年必ず被害を受ける。高級な柵を設置すると地元で更新整備できなくなるため、安価なものでもいいから、地元のホームセンターや資材店等でも調達可能な材料で整備していただけるとありがたい。	鳥獣害防止柵の設置により、農作物被害が軽減されるため、本地区に必要な工種の一つと考えており、早期の完成に向け事業を推進する。 設置にあつては、害獣に応じた適切な種類(材質・高さ)の防止柵を設置する必要があり、安価な材料のみでの整備は難しい。 なお、地元で行う鳥獣害防止柵の補修を含む維持管理については、農地及び農業用施設の保全管理を目的としている多面的機能支払交付金が活用できるため、地元負担軽減のためにも検討願いたい。
5	事業継続を希望	農業集落排水 ・漏水の多かった排水路の整備によって、湿田化していた排水路周囲の農地の状況が改善した。 ・人家の裏に、大雨の時に溢れてしまう土水路がある。大きな機械が入れない場所だが、なんとか改良してほしい。	整備効果について貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。御意見をいただいた土水路は、計画路線の付帯施設となっており、施工に当たっては、人力でも搬入可能な二次製品水路等を活用し整備を進めていく。
6	事業継続を希望	農業集落道 要望している道路は、地元の集落と、太い県道を結んでおり、交通量が多いが、交差点の形が悪く、不便。子供たちの通学路にもなっていることから、早期の整備を望む。	御意見をいただいた交差点部については、県道等の管理者との協議が整ったため、農業集落道利用者の安全を確保するためにも早期の完成に向けて事業を推進していく。
7	事業継続を希望	交流基盤施設 整備予定地は静岡県棚田等十選にも選ばれたわさび田であり、平日でも観光客がやってくる。交流施設の整備を進めたいが、観光客が過度に入り込まないように配慮しながら整備を進めてほしい。	本地域のわさび田は、優良な農地であると同時に貴重な観光資源である。営農者に支障が生じないよう農業と観光を両立させた交流基盤施設の整備を進める。
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改良事業

箇所名: (国)469号 精進川拡幅

照会者: 地元関係者、道路利用者

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の完成を求む。 ・大型の車両とのすれ違いの際に道路が狭く支障になる。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。
2	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を早く進めてほしい。 ・木が生い茂っており、昼間でも暗く狭いため、運転がうまくない人にとっては怖い。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。
3	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を一日でも早く進めてほしい。 ・事故が心配。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。
4	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を早く進めてもらいたい。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。
5	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しが悪く、斜面からの倒木、落石があり通行上支障があることから、一刻も早く工事に着手いただきたい。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。
6	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続し早期の完成をお願いしたい。 ・道路からの雨水や接続する道との影響が少なくなるような道路計画を進めてほしい。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。
7	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続し早期の完成をお願いしたい。 ・通行の利便性が向上することを願っている。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。
8	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の早期完成をお願いしたい。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。
9	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の早期完成をお願いしたい。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。
10	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の早期完成をお願いしたい。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。
11	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の全線開通を要望します。 	現道拡幅により、円滑で安全な交通を確保され、道路ネットワークの強化が図られることから、早期完成を目指し事業を推進する。

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名:	道路改良事業
箇所名:	一般国道469号 勢子辻バイパス
照会者:	地元関係者、道路利用者

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	現道においては、通過車両が多く、特に運搬車両など大型車両も多くなっていることから、勢子辻バイパスが整備されれば、大型車両がバイパスを利用し、通過車両も減り、勢子辻地区の住民にとって、静かな住環境が整うため、事業継続を要望する。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、沿道の住環境改善及び円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
2	事業継続を要望	現道の通過車両数は富士宮の北山工業団地や富士市内への運送車両など増加している。これにより、振動も多く、道路への負担や埋設されているガス管等への影響も多い。 また、通行量も増加しており、地元住民でも道路に出れにくく、騒音などが多い状況である。勢子辻バイパスが整備されれば、静かになり、道路等への負担軽減、騒音、排ガスの減少が見込まれ、地元住民にとって、住みやすい環境ができるので、事業継続を要望する。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、沿道の住環境改善及び円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
3	事業継続を要望	大型車両の通過が増加しており、バイパスが整備されれば、通過車両も減少することが期待される。これにより、勢子辻地区に静かな環境が整備されるため、早期の完成をしていただきたいことから、事業継続を要望する。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、沿道の住環境改善及び円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
4	事業継続を要望	バイパスが整備されれば、車両の通行量の減少が期待され、これにより騒音・排気ガスも減るので、勢子辻バイパスが早期に整備されるよう事業継続を要望する。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、沿道の住環境改善及び円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
5	事業継続を要望	勢子辻地区は高齢者が多いので、車の往来の減少に伴い、出歩く際の交通の安全面が向上されることから、事業継続を要望する。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、沿道の住環境改善及び円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
6	事業継続を要望	バイパス整備に関しては、長い目で見ても必要なので事業継続を希望。また、整備に伴い、車の通過が減ることにより、騒音・排ガスなど減少することにより静かな生活環境が整う。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、沿道の住環境改善及び円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
7	事業継続を要望	現状の道路は、富士宮・富士方面、裾野方面へのトラックなど大型運搬車両の通過が多い状況です。現道に接する勢子辻町内会は世帯数も少ない地区であります。昔は静かなところでもあったので、469号線勢子辻バイパスの整備により騒音の減少や、横断の際のリスクの減少に伴い交通安全が見込まれることから、事業継続を要望します。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、沿道の住環境改善及び円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
8	事業継続を要望	勢子辻周辺は住宅街であるが道幅いっぱい大型車やスピードを出す車が見られ、危ないと感じていた。バイパス整備で地区の交通安全の向上が図られること、また裾野・御殿場方面へのアクセスが良化することも通勤、通学等に利用している住民にとってメリットであることから事業継続を要望します。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、沿道の住環境改善及び円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
9	事業継続を要望	バイパスが整備されれば、現道の通行量の減少が期待され、これにより騒音・排気ガスも減るので、早期に整備されるよう事業継続を要望する。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、沿道の住環境改善及び円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
10	事業継続を要望	バイパス整備に伴い、車両通行量が減り、騒音・排ガスが減少し静かな生活環境が整い、また歩行者の安全が確保されるため、事業継続を要望する。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、沿道の住環境改善及び円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 主要地方道焼津榛原線

照会者: 主要地方道の自治会関係者、受益者 5名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	車の流れをスムーズにし、移動時間を短縮するため早期の4車線化を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	早期の整備を望む。既設舗装の補修についても対応していただきたい。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	走行車両が以前と比較して大きくなってきたため、早期の完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	計画的な進捗を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	交通渋滞により交通事故の危険があるため早期の完成を望む。計画の提示や市事業との調整等も進めていただきたい。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般県道磐田掛川線

照会者: 一般県道磐田掛川線の自治会関係者、受益者 10名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	朝の通勤時間帯は混雑するため、早期完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	物流倉庫や工業団地を目指す大型車両が多いので、4車線化でより快適に通行ができれば、さらに物流倉庫等の需要が高まり雇用が生まれると期待できるため、早期完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	4車線化により中東遠総合医療センターへ向かう緊急車両がより迅速に走行できると思うので早期完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	エコパでイベントがあると混雑するため、早期完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	旧大須賀町や旧大東町方面から(国)1号方面へ向かう車両が非常に多い。(一)大須賀掛川停車場線で狭隘区間であった西大谷トンネル部分が拡幅されたため、交通需要が増えていると思うので、早期完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	交通事故が起きたときには片側交互通行となって交通量が本路線は周辺に大きな影響を与えることになる。それが4車線化すれば、影響が少なくなると考えられるので、早期完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	本路線は東名高速道路の掛川ICと(国)1号からエコパに繋がる道である。エコパは災害時に物資などを置く拠点になると聞いているので、輸送路が4車線化すればよりスムーズに輸送できるようになると思うので、早期完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	朝の通勤時間帯は混雑するため、早期完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	物流倉庫や工業団地を目指す大型車両が多いので、4車線化でより快適に通行ができれば、さらに物流倉庫等の需要が高まり雇用が生まれると期待できるため、早期完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	本路線は東名高速道路の掛川ICと(国)1号からエコパに繋がる道である。エコパは災害時に物資などを置く拠点になると聞いているので、輸送路が4車線化すればよりスムーズに輸送できるようになると思うので、早期完成を望む。	現道を供用しながらの工事となるため一度に長い区間で工事を実施できないという制約があるが、早期完成を目指して事業を推進する。

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名： 道路改築事業

箇所名： 一般県道横川磐田線

照会者： 一般県道横川磐田線の自治会関係者、受益者 10名

担当課：道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	道幅が狭く対向車が危険に感じている。特に下り車線でスピードが出て、カーブで反対車線にはみ出るため危険。さらに大型車両の通行も多く事故が多い。数年前から事業があまり進んでいないように感じる。早急に整備してほしい。	車両のすれ違い困難な状況は十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	何十年前前から要望はある。以前に地権者の反対で白紙になったことがあったが、代も変わっていることから今は反対者はいない。カーブが多く事故も多いことから、早期整備をお願いしたい。	車両のすれ違い困難な状況は十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	茶農家が多く、山の上の畑から、山の下工場に運ぶため、繁忙期は一日に数十往復する。見通しが悪く危険であるため早期に改善してほしい。	車両のすれ違い困難な状況は十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	特に朝は通勤車両が多く危険。是非早期改善をお願いしたい。	車両のすれ違い困難な状況は十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	雨の日には事故が増える。急勾配に急カーブでスピードが出て対向車線にはみ出してくる。見通しも悪く本当に危険だ。	車両のすれ違い困難な状況は十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	高校生が通学路として利用している。大きな事故になる前に道路を整備してほしい。	車両のすれ違い困難な状況は十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	磐田方面からも4番茶になると山田の大きい工場へ持ってくる農家が多い。現道は雑木の枝を避けると車線を跨ぎ、危険であるため解消してほしい。	道路整備をすることで問題が解決すると認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	新磐田スマートIC周辺の工業団地へ通勤している車両が多い。袋井方面からも朝は車両が多く、見通しが悪いため危険を感じている。	車両のすれ違い困難な状況は十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	豊岡方面に買い物に行くにはこの道しかないためよく利用する。カーブが連続して見通しが悪いため運転に恐怖を感じている。道路が整備されれば有難い。	車両のすれ違い困難な状況は十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	事業にはみんな賛成している。生活道路として必要不可欠な道路のため、安全に通行できるようにしてほしい。	車両のすれ違い困難な状況は十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 河川改修事業

箇所名: 二級河川馬込川

照会者: 馬込川流域の関係自治会

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を希望	大雨による馬込川の水位が上昇し排水ができず内水被害が起きている。浸水被害の解消のため事業の継続を要望する。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を希望	各地で洪水が発生しており、令和4年9月の豪雨では広域にわたり浸水被害が発生したため事業の継続をお願いする。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を希望	令和4年9月の豪雨で床上浸水の被害が多数あった。馬込川、芳川に挟まれているため事業を継続し早期解消をお願いしたい。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を希望	床上・床下浸水や道路の冠水がほぼ毎年起きている。早急に河川流域の整備を要望する。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を希望	本地区は住宅密集地で床上・床下浸水や道路の冠水の際被害が大きい。早急に河川流域の整備を要望する。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 河川改修事業
 箇所名: 一級河川安間川
 照会者: 沼川自治会

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	安間川西側で床上・床下浸水や道路の冠水がほぼ毎年起きている。令和4年には越水し広範囲で浸水被害を受けたため、事業の継続を要望する。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	大雨による河川水位の上昇により排水ができず内水被害が起きている。また、大規模工場の進出により、排水路の流量も増加している。河川改修を早期に完成を望む。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	R4、5の豪雨で床上、床下浸水の被害が多数発生した。河川の整備を実施し被害が軽減させるためにも事業の継続をお願いする。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	R4の台風で浸水被害が発生し、家屋や車の被害が甚大であった。下流からの整備は理解しているが、被害が大きかった箇所への対応も検討してもらいたい。事業の継続をお願いする。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	被害が多く発生しているため、事業を継続し早期に効果が出るよう工事を進めていただきたい。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	河川の阻害となる橋の架け替えについて、現橋梁は老朽化しており落橋の恐れがある。落橋した場合河川の阻害となり被害が甚大となるため、河川整備事業の継続をお願いする。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	河川整備の必要性は理解している。橋梁の補強をしないと不安な箇所もある。事業の継続をお願いする。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	JR新幹線から国道1号までの区間が狭く不安である。全国で発生している洪水が昨今の集中豪雨やゲリラ豪雨から安間川も例外でないので、早期に効果が出るよう工事を進めていただきたい。事業の継続をお願いする。	依然として異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。浜松市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名:	河川改修事業
箇所名:	二級河川垂木川
照会者:	受益地区の沿川自治会役員等代表者(14名)

担当課:河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・床上・床下浸水の被害を含め、今後、大雨等で災害が予想される為、地域住民の安全確保の観点から河川改修は絶対必要である。河川改修のスピード化・工期短縮を期待したい。(11名) ・上流の事業継続、拡大を早期に計画いただきたい。(1名)	関係機関との調整(橋梁の管理者など)を進め、早期の完成を目指して参ります。
2	事業継続を要望	一事業に数年経過しているようなので、事業費の増加を要望していただきたい。(2名)	効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期の完成を目指して参ります。
3	事業継続を要望	東海・東南海・南海地震など巨大地震が起こった時、垂木川は大丈夫か心配である。耐震対策が必要かどうかも含め、何かしら検討をすすめていただきたい。(1名)	橋梁の架け替えでは、耐震対策を考慮して整備を進めています。
4	事業継続を要望	神田橋の改築について、神田橋が落橋した場合の問題点を含む、利用する側の意見をもっと深く聞いていただきたい。(1名)	橋梁管理者である掛川市と調整を進め、神田橋を撤去するか架け替えるかは、利用者の意見をよく聞いて、決定して参ります。
5	事業継続を要望	・河川の増水と橋の耐久性を踏まえると、早めに橋の改築を進めてほしい。 ・矢くら橋において、車のすれ違いができるようお願いしたい。(1名)	橋梁管理者である掛川市と調整を進め、矢鯨橋をどう架け替えるかは、利用者の意見を集約して、決定して参ります。
6	事業継続を要望	・両岸のり面のメンテナンスを県が全面的に行ってほしい。(1名) ・自治体が堤防の草刈りを協力するには、大変苦勞しており、危険が増している。県で対応できるようお願いしたい。(2名)	堤防の草刈りはできる限り、地元自治体に協力をお願いしています。リモコン式草刈り機の貸し出しなども行っているため、日常的な管理しやすい環境の整備を目指します。
7	事業継続を要望	親水公園をつくってほしい。(1名)	早期改修に努めるとともに、川に近づける親水公園の整備が可能か検討して参ります。
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 広域河川改修事業
 箇所名: 二級河川勝間田川
 照会者: 河川改修事業の受益者 15名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	地球温暖化現象により豪雨が頻発している。当町内会においても下流側の増水により、危険な状況になることがある。	勝間田川の河川改修事業を推進するとともに、「勝間田川水系流域治水プロジェクト」に基づく流域治水対策を実施し、被害の軽減を図ります。
2	事業継続を要望	勝間田川は改修事業により整備されてきてはいますが、大雨の度に水位が上がり、支川の水がはげず、中学校付近の道路が毎年冠水している。計画以上に河床高を下げ、河道断面を広げてほしい。	勝間田川の河川改修事業を推進するとともに、「勝間田川水系流域治水プロジェクト」に基づく流域治水対策を実施し、被害の軽減を図ります。
3	事業継続を要望	昨年、想定外の台風や大雨等の水害が多発しており、勝間田川でも一昨年の台風15号による堤防の決壊や越水が発生しており、事業を継続して頂きたい。	勝間田川の河川改修事業を推進するとともに、「勝間田川水系流域治水プロジェクト」に基づく流域治水対策を実施し、被害の軽減を図ります。
4	事業継続を要望	今年3月の雨で道路が冠水した。勝間田川の河川整備事業を早期に行い、支川の排水を良くしてほしい。	勝間田川の河川改修事業を推進するとともに、「勝間田川水系流域治水プロジェクト」に基づく流域治水対策を実施し、被害の軽減を図ります。
5	事業継続を要望	川の増水による堤防決壊を防ぐため、家や田畑を水害から守るために事業継続を強く要望する。	浸水被害の軽減を図るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、勝間田川の河川改修事業を推進します。
6	事業継続を要望	対岸の橋向側の改修も引き続きお願いしたい。	秋葉橋から戸塚橋の護岸については、左岸側の護岸実施後、右岸側護岸を実施する予定です。
7	事業継続を要望	仁田地区においても毎年時間雨量30～50mmの雨が複数回起こっており、生活環境が脅かされている。勝間田川本川の水位が上がると支川がはげず、水田が冠水する。勝間田川の河川改修を一刻も早く強力に実施して頂くことが地区住民の悲願である。	勝間田川の河川改修事業を推進するとともに、「勝間田川水系流域治水プロジェクト」に基づく流域治水対策を実施し、被害の軽減を図ります。
8	事業継続を要望	気候変動により勝間田川の越水発生は常態化する方向にあると考えられる。流域住民の不安解消のため事業継続を強く要望する。	勝間田川の河川改修事業を推進するとともに、「勝間田川水系流域治水プロジェクト」に基づく流域治水対策を実施し、被害の軽減を図ります。
9	事業継続を要望	勝間田川の支川がある仁田地区は大雨の際にたびたび水田の浸水を経験してきた。農家はそのたび苦しい思いをしている。また、通学路も浸水するため、児童の安全を守る意味でもぜひ事業の継続を要望する。	勝間田川の河川改修事業を推進するとともに、「勝間田川水系流域治水プロジェクト」に基づく流域治水対策を実施し、被害の軽減を図ります。
10	事業継続を要望	河道に生える大量のヨシ、堆積するごみ等により流れを妨げているため。	浸水被害の軽減を図るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、勝間田川の河川改修事業を推進するとともに、維持管理にも努めます。
11	事業継続を要望	当該河川は部分的な改修は行われているが、まだ脆弱な箇所もあり、川底の浚渫、護岸補強、橋の架替等、できる限りの対策が必要であると思う。	浸水被害の軽減を図るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、勝間田川の河川改修事業を推進します。
12	事業継続を要望	秋葉橋から戸塚橋間のかごマット工事を進めてほしい。	浸水被害の軽減を図るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、勝間田川の河川改修事業を推進します。
13	事業継続を要望	最近、温暖化の影響か雨の降り方が想定を超える激しい降り方をする。勝間田川もこれまで何回か氾濫しており、今後も浸水被害の可能性があるので、事業は継続してほしい。	勝間田川の河川改修事業を推進するとともに、「勝間田川水系流域治水プロジェクト」に基づく流域治水対策を実施し、被害の軽減を図ります。
14	事業継続を要望	いつ大雨によって川が増水するかわからないので河川改修事業を継続して行ってほしい。地域住民が少しでも安心してくらすことができるように。	勝間田川の河川改修事業を推進するとともに、「勝間田川水系流域治水プロジェクト」に基づく流域治水対策を実施し、被害の軽減を図ります。
15	事業継続を要望 見直しを要望	支川の堤防高さは問題ないか。逆流が想定される。	支川の堤防高さが問題ないかどうかは支川の管理者に確認が必要ですが、「勝間田川水系流域治水プロジェクト」に基づき、あらゆる関係者が連携し、浸水被害の軽減を図るよう努めます。

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名:	河川改修事業
箇所名:	庵原川水系(庵原川、山切川)
照会者:	庵原川、山切川に隣接位置する関係7自治会

担当課:河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	地形的な排水の悪さもさることながら、JR鉄道橋及び旧国道1号の道路橋が橋脚方式であり、河川断面の不足である事は疑う余地はない。	整備計画に基づき、継続して事業を実施していく。
2	事業継続を要望	庵原川周辺の治水対策が急務である。	整備計画に基づき、継続して事業を実施していく。
3	事業継続を要望	新東名高速道路や中部横断道の建設、県営畑地帯総合整備事業等の工事により、河川の氾濫の危険が心配される。まだまだ、山切川の構造物による護岸整備が行われていない箇所が多い。	整備計画に基づき、継続して事業を実施していく。
4	事業継続を要望	堤防に接している場所には、こども園、民家が多数あり、再度豪雨等で庵原川が増水した場合を考えると非常に危険な状況である。	整備計画に基づき、継続して事業を実施していく。
5	事業継続を要望	庵原市民の心には、令和4年度台風15号による災害の印象は根強く残っている。	整備計画に基づき、継続して事業を実施していく。
6	事業継続を要望	河川付近の人達は大雨の度に、洪水による外水氾濫や内水氾濫等に大きな不安を感じている。庵原川、山切川の流れを良くし、水害等が起きにくい河川となることを要望する。	整備計画に基づき、継続して事業を実施していく。
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 大規模特定河川事業

箇所名: 一級河川 沼川 (沼川新放水路)

照会者: 沼川自治体関係者 (20名)

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・令和10年度の完成を事故なく終了願います。 ・作業車の運航については、今以上に気を付けて法定速度を守ってください。 ・大雨及び台風時、用水池の巡回対応をお願いします。 	整備計画に基づき、継続して事業を実施していく。
2	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続について、区民からの苦情等は一切ございません。 ・従来通り事業推進していただき、定期的に現状報告と今後の工程表を自治会へ配布下さい。 ・事業について調整して付近にて工事関係業者の自動車出入りに十分注意され工事の開始終了時間を守り、安心安全な工事をお願いします。 	整備計画に基づき、継続して事業を実施していく。
3	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・少しの大雨であっても前川の氾濫により、今沢地区センターをはじめ、中今沢、三本松の周辺はすぐに冠水してしまう。1日でも早く沼川新用水路の完成を望む。 ・南海トラフ地震が心配される中、今沢地区の避難所は今沢小学校に開設される事になっている。避難所開設までは時間がかかる事が予想される。新用水路の上部利用地の利用方法として、避難場所の利用を考えてもらいたい。 	整備計画に基づき、継続して事業を実施していく。
4	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・沼川及び高橋川氾濫防止のため、早期完成を望みます。 ・前川用水池確保について、1号橋橋脚工事に伴い用水池が確保出来ていない為、雨期になると道路氾水位が上がって支障が出ている。又、3号橋工事を進める際、用水池を埋める計画は1号橋用水池を確保してからにしてほしい。 	整備計画に基づき、継続して事業を実施していく。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 高潮対策事業

箇所名: 清水西海岸

照会者: 清水海岸侵食災害防止対策促進期成同盟会

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	養浜の効果については、先日の台風襲来の際にも改めて確認できたため、引き続き、継続していただきたい。	砂浜の状況、養浜の効果等について、引き続き、モニタリングを実施しながら、砂浜回復域が三保地区に到達するまで事業を継続していきたい。
2	事業継続を要望	近年、たまたま大きな台風の来襲がないが、温暖化等の影響もあり三保松原の下手付近においては、越波被害等が心配である。	当該部では、養浜として旧飛行場付近からのサンドリサイクルを実施しており、高波浪により浜欠が発生した場合でも、すぐに投入ができるように、背後にストックをして備えている。引き続き、モニタリングを実施しながら、砂浜回復域が三保地区に到達するまで事業を継続していきたい。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 湊北沢

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数5世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	1日でも早い工事完成をお願いします。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2	事業継続を要望	私たち子供の頃は、溪流が隣の部落に通じていた道でしたが、現在この様に荒れており、何時災害が起こると思うと、麓に住む我々は心配です。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 事業間連携砂防等事業

箇所名: 半経寺沢

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数31世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今まで住んでいて被害が直接あったわけではないので効果の実感はありません。ですが近い方は安心感があると思います。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2	事業継続を要望	半経寺沢の砂防事業を早期に完成させたい。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
3	事業継続を要望	これからもよろしく願います。ありがとうございます。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
4	事業継続を要望	できるだけ早く工事の完成を望みます。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
5	事業継続を要望	伊豆山の土石流災害があった後、国も県もより力を入れてくれるようになったと感じております。砂防事業をしていただいてありがたく思っております。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
6	事業継続を要望	最近線状降水帯の発生により想定以上の多量の雨が降る場合があります。丈夫な砂防工事をよろしく願います。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
7	事業継続を要望	このアンケートの必要性が分からない。土石流の危険性があるのなら、砂防堰堤事業を進めてほしいが、このアンケートにより進め方(必要性や優先性)が変わるのか…	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
8	事業継続を要望	土石流の恐ろしさは熱海の件で！こんな不幸は無くてほしい。今後も続けてほしいです。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 事業間連携砂防等事業

箇所名: 品鉢川

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数24世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	早期完成及び他危険箇所の事業推進を願います。地域内は高齢化が進んでいるため、早期の安全対策が必要。津波対策にも活かせる施設(機能)を望みます。例)避難路を確認した堰堤など	補正予算を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2	事業継続を要望	過去に自分の土地が大雨で崩れ下の家庭を押しつぶした事があり、今後の工事でコンクリートとなり助かりました。	補正予算を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
3	事業継続を要望	これからも安心してこの土肥地区に住み続けたいので、これからも整備の方、よろしく願います。	補正予算を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
4	事業継続を要望	近年気候の温暖化、地震等による大規模な自然災害がしている地域住民の安心安全を守る為計画的な早期の行政の対処を希望する	補正予算を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 事業間連携砂防等事業

箇所名: 谷戸沢右支川

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数8世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	予算切れのないように速く出来上がるようにしてください。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 火山砂防事業
 箇所名: 水口川
 照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数14世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	私の人生で三回も床上水害にあいました。その都度たみ上げて助けました。子供を背負って家に残っているのは自分だけだからと頑張りました。大雨が降ると橋に流木が流れてきてせき止めにならないか注意しています。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2	事業継続を要望	これからも水口区、よろしく願いいたします。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
3	事業継続を要望	近年、大きい台風、大雨などが多く、水口川も大変危険。一日も早く砂防の設備を切に願う。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
4	事業継続を要望	各地発生している災害は以前よりまして加速度的である。対策もそれに合わせて、スピード感を持って行ってほしい。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
5	事業継続を要望	私は昭和36年水害を体験しました(床上浸水)。水口川の砂防は水口区の重要な課題です。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
6	事業継続を要望	昭和36年の水害課題があった家屋です。今後も事業を進めてくださるようお願いいたします。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 火山砂防事業

箇所名: 玉沢

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数21世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	当施設は「土石流警戒区域」内にあり、かつ「がけ崩れ・土石流特別警戒区域」に隣接しているため、砂防事業には高い関心を持っています。沼津土木事務所様の日頃の取り組みに心から感謝を申し上げますとともに、引き続き、地域の安全・安心のためにご尽力下さいますようお願いいたします。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2	事業継続を要望	安心感につながっていると感じております。ありがとうございました。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
3	事業継続を要望	人口減少地区のことを考えてくださりありがとうございます。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
4	事業継続を要望	風の強い日、雨の強い日、地震の時など常に危険を感じています。子供が一人で留守番する際も今のままだと非常に不安です。よろしく願います。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 火山砂防事業

箇所名: 大下沢

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数8世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	能登半島地震を見ていつ起こるかわからない今、伊豆もただ事ではないと思います。対策をお願いしたいです。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2	事業継続を要望	大雨が降ったときなどは山からの水や土砂が気になる。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 火山砂防事業

箇所名: 稲荷沢

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数2世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	近年異常気象も多い。砂防施設の早期完成を強く望む。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 事業間連携砂防等事業

箇所名: 郷島沢

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数22世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	その他	堰堤完成後、貯まった土砂を定期的に除去していただきたいです。	透過型堰堤は計画堆砂量の確保が必要であるため、管理用道路を活用して、適切に除石管理を行う。
2	事業継続を要望	土石流の発生が多いと思います。対策をお願いします。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
3	事業継続を要望	危険箇所は住民も不安なので、手遅れにならないように早期に進めていただけるとありがたいです。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
4	その他	急流で幅の狭い沢では、満杯になればいづれ被害が出そうで心配です。	透過型堰堤は計画堆砂量の確保が必要であるため、管理用道路を活用して、適切に除石管理を行う。
5	事業継続を要望	砂防堰堤事業で台風等に危険箇所の対策の効果が出れば、安心感ができると思います。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 杉沢

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数2世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	砂防えん堤が完成すれば安心感があるため、今後も杉沢において『砂防事業』を進めていく必要性を感じます。	補正予算を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 手水ヶ谷沢

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数14世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	砂防えん堤が完成すれば安心感があるため、今後も手水ヶ谷沢において『砂防事業』を進めていく必要性を感じます。	補正予算を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 原南沢

照会者: 保全対象者である藤枝市立藤枝中央小学校

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	砂防えん堤が完成すれば安心感があるため、今後も原南沢において『砂防事業』を進めていく必要性を感じます。	補正予算を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 坊主淵川

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数24世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	公共事業で実施してもらえるのはありがたい。どんどん進めてほしい。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2	事業継続を要望	熱海(逢初川)の土石流の映像を見て危機感を感じた。ここ(坊主淵川)とは事情は違うが、ぜひ事業を進めてもらいたい。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 事業間連携砂防等事業

箇所名: 気賀天神山沢

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数67世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	砂防事業という投資(費用)に対する効果を期待しています。	補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 小坂沢川

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数14世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	計画開始から工事の着手までに時間がかかっている。近年、大雨等による災害が頻発しているため可能な限り速やかな施工をお願いしたい。	今年度中に残っている工事中用搬入路の設計や、用地買収、浜松市との協定等を済ませ、来年度からは工事着手し、令和9年度までに完成を目指す。また、補正予算等を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2	見直しを要望	既設の治山堰堤があるが、そこに溜まっている土砂を取り除けば必要ないのではないか。	治山堰堤は土石流を捕捉する堰堤ではなく、土石流発生時には破壊される可能性が高い。土石流災害を少なくするためにも、土石流対応型の堰堤を整備する必要がある。
3	その他意見	下流の流路工が天井川ようになっており、降雨時に底版付近から敷地に水が漏れる。	現地を確認し、砂防施設であれば必要に応じて対策を検討する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 不動様沢

照会者: 保全対象者を含む地区住民(回答数20世帯)

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	砂防えん堤が完成すれば安心感があるため、今後も不動様沢において『砂防事業』を進めていく必要性を感じます。	補正予算を適切に活用し、事業の早期完了を図る。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 事業間連携砂防等事業

箇所名: 上西之谷

照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に12世帯

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も地すべり対策事業を進める必要性を感じている。(12世帯)	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業進捗を図ります。
2	その他自由意見	地下水も原因の一つだと思いますが、短期的に大量の降雨が近年増えたこと、70年以上天然の貯水である森林を放置したことも原因だと思います。危険なところは重点的に工事をして前向きにお願いします。	森林所有者へ対し、森林の適切な維持管理を努めていただくよう、事業説明等の機会に説明します。 引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業進捗を図ります。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 小立野No.3

照会者: 小立野No.3急傾斜地崩壊対策事業の受益者 11名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(11名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していく。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和 6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 守木山田B

照会者: 守木山田B急傾斜地崩壊対策事業の受益者 13名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(13名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していく。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 井宮町a

照会者: 井宮町a 急傾斜地崩壊対策事業の受益者を含む地区住民 12名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(11名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 宮前町a

照会者: 宮前町a急傾斜地崩壊対策事業の受益者 9名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	その他自由意見	私の住所は危険だと聞いているが、現在の工事範囲に含まれていない。	実被害のあった箇所を優先しているが、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	今後も対策事業をお願いします。	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 無東坂

照会者: 無東坂急傾斜地崩壊対策事業の受益者 19名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(19名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 事業間連携砂防等事業

箇所名: 水川西

照会者: 水川西急傾斜地崩壊対策事業の受益者 2名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(2名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 緑地等施設整備事業
 箇所名: 清水港新興津地区
 照会者: 緑地整備事業の受益者 10名

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	整備期間が長いので待ち遠しいが早期供用を期待している。	コスト縮減と予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	自然をできるだけ壊さないでの開発は賛成。津波対策も含め検討してほしい。	人々が気軽に訪れ、自然や生き物に接することのできる親水空間を確保するよう整備を進める。また、避難経路確保や避難施設の整備など、津波対策についても緑地整備と併せて実施していく。
3	事業継続を要望	整備計画は非常に良い事だと思う。早く供用されることを願っている。	コスト削減と予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	緑地が出来て、景観等が改善されるのは良いが、周辺の道路状況が心配である。渋滞解消、導線等の対策をお願いしたい。	周辺道路への影響が少なくなるよう、緑地整備と併せて効率的なアクセス動線の整備を進めていく。
5	事業継続を要望	緑地をゴミ等で環境を壊すことのないよう管理・対策を徹底し、孫末代まで利用出来るように風光明媚な興津海岸にしてほしい。	人々が気軽に訪れ、港や海に接することのできる親水空間を確保できるよう事業の推進を図る。また、整備後の管理手法についても検討を進めていく。
6	事業継続を要望	県外の人達も2度3度ここに足を運ばせ、又輸出港として他県の産物の取扱を誘致するようにして欲しい。	隣接する小型船溜り整備と連携し、地産地消を進める水産物の直売などができる物販施設の誘致を関係者と連携をとって検討するなど、来訪者の楽しめる場を目指していく。
7	事業継続を要望	定期的にイベント等を開催し、利用を増やす事が必要と思われる。	地域活性化の核となる観光交流拠点の整備を目指し、定期的なイベント開催等についても関係者と調整、連携をとって検討していく、効果的な事業の推進を図る。
8	事業継続を要望	事業は賛成だが、大々的に整備している割にはアピールが少ないのではないかと感じる。	これまでも当事業の周知のため、広報誌「興津なぎさ便り」を発行するなどの取り組みをしてきたところである。今後も引き続き、定期的なイベント開催等についても関係者と連携をとって検討する等、当事業のアピールにつながる取り組みを検討し、効果的な事業の推進を図る。
9	事業継続を要望	高齢化が進む中で高齢者も車を使って様々な場所へ行く。この場所も高齢者にも行きやすい施設にしてほしい。	自然や海に親しみ、憩いふれあうことのできる親水空間の確保に努めるとともに、往来が容易となるアクセス面の整備についても引続き検討を進めていく。
10	事業継続を要望	緑地整備に合わせ、津波対策についても検討してほしい。	避難経路確保や避難施設の整備など、津波対策についても緑地整備と併せて実施していく。

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 港湾改修事業(地方)
 箇所名: 浜名港舞阪地区 港口東導流堤
 照会者: 受益者(浜名漁協) 3名

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	当該箇所は潮流が激しいことから、導流堤の整備を進めることで航路の安定が図られると考えており、早急な整備完了を要望する。	当該箇所は浜名湖の湖口にあり、滞筋の変動が激しく漁船の航行に支障を来す恐れのある箇所と認識している。また、当該施設は、鋼矢板の劣化等により、吸出しによる変状が見られていることから、機能保全を図るため、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 街路事業

箇所名: 都市計画道路 西間門新谷線(4工区)

照会者: (都)西間門新谷線街路整備事業の受益者 10名

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	整備が長期化していて完成時期が不明確である、柿田橋は整備されるのか等について、近隣住民から質問されることがある。	整備が長期化しており、起点側(西側)220 mを部分的に供用するなど、整備した箇所から供用に努めている。引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。また、事業スケジュール等広報に努めていく。
2	事業継続を要望	通学路や歩行者の安全確保のため、これからも歩道整備をお願いしたい。	現道は清水中学校の通学路として利用されている。整備した箇所から歩道の供用を行うなど、歩行者の安全確保のため、引き続き歩道拡幅工事を進めていく。
3	事業継続を要望	地域の活性化のため、道路整備を継続してもらいたい。	早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	用地買収も進んでいるので、早期の完成を要望する。	事業区間内の用地買収は全て完了した。早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	柿田橋と柿田橋西側の早期拡幅・早期整備をお願いする。中学生の通学路にもなっているが、現道が狭く、自転車の通行もあるため大変危険である。	整備した箇所から歩道の供用を行うなど、歩行者の安全確保のため、引き続き歩道拡幅工事を進めていく。
6	事業継続を要望	災害に強い道路とするため、無電柱化してもらいたい。	歩道拡幅工事で併せて電線共同溝工事を行っている。無電柱化工事を引き続き進めていく。
7	事業継続を要望	早く道路が完成するのを楽しみにしている。	早期完成を目指して事業を推進する。
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 街路事業

箇所名: 都市計画道路 新橋茱萸沢線

照会者: 新橋地区関係者10名

担当課: 都市計画課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	用地買収も進んでおり、観光客や移住者に事業について質問されることもあるため、早期の完成を要望する。	引き続き、残りの用地買収を進め、完成を目指す。
2	事業継続を要望	通学路や歩行者の安全確保のため、これからも歩道整備をお願いしたい。	近くの御殿場市立南小学校の通学路としても使用されているため、歩行者の安全を確保するべく、引き続き、歩道整備を進めていく。
3	事業継続を要望	地域の活性化のため、道路整備を継続してもらいたい。	駅の近くであり、地域を活性化させるための潜在的な可能性があると思われるため、この立地を生かせるよう、街路整備を進めていく。
4	事業継続を要望	災害に強い道路とするため、さらに景観を良くするため、無電柱化してもらいたい。	現在、電線共同溝工事を進めている。引き続き、電線共同溝工事を進め、無電柱化を実施する。
5	事業継続を要望	防犯上、歩道照明が必要である。景観に配慮した歩道照明を整備してほしい。	照明の設置については、市と検討していく。
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 街路事業

箇所名: 都市計画道路 田中青木線

照会者: 事業の受益者 10名

担当課:

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	並行する県道を中心に、南北方向の交通が各踏切に集中しており、朝晩の通勤時間帯は慢性的な渋滞が発生しており、早急に整備完了を要望する。	依然として慢性的な渋滞が発生していることは十分認識している。富士宮市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	事業の整備により、観光客増加に伴う交通量の分散に期待する。早期の整備完了を要望する。	富士宮市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	対象区間及び周辺道路は道が狭く、歩道未整備の箇所が多いため、歩行者や自転車にとって危険であるため、早期の整備完了を要望する。	富士宮市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和6年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 街路事業

箇所名: 都市計画道路 田端宝野線

照会者: 高尾地区自治会代表者及び街路整備事業受益者

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今の県道は歩道もなく狭い状態である。通学時には車も多く、接触などの恐れもあるため、一部の道路であっても歩道ができるのは良いのではないか。	早期に開通できるよう事業を推進する。
2	事業継続を要望	現道は歩道のない路肩を歩くしかなく通学時は危険と感じている。小学生だけでなく隣には幼稚園・保育所もあり、歩道という仕切りができるだけでも安全となり安心感が生まれる。	通学時には子供を避けると車同士のすれ違いも困難と認識している。渋滞の解決と歩行者の安全が両立できるよう、早期の開通を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	田端宝野線と接続する田端掛之上線は完成しており、更に袋井駅から繋がる駅南循環線も完成が近い。県道だけが狭い状態で残ってしまうので早期に繋げ、渋滞等の緩和となって欲しい。	早期に開通できるよう事業を推進する。
4	事業継続を要望	現道と違い2車線に分かれた車道と歩道ができるのは地元としても嬉しいことだが、出来上がる道路により従来の住宅地が南北に分断される。歩道により通学路は安全となるが、南北の横断箇所は何箇所用意されるか。また、新しい道路に接続する市道の一部に勾配の厳しい箇所があるが解消は可能か。	道路の横断、市道の勾配等について、地元の意向も伺いながら、警察や市と協議、調整を進めていく。
5	事業継続を要望	地域の住民が利用する施設であり、屋間は徒歩で訪れる高齢者も多い。道路は安全に渡れるか。	安全に横断できるよう、地元の意向も伺いながら、警察や市と協議、調整を進めていく。
6	事業継続を要望	地元のためだけではなく、緊急車両の通過や輸送路としても大事だと聞いている。出来る限り早期の完成を期待する。	早期に開通できるよう事業を推進する。
7	事業継続を要望	朝夕は歩行者の安全も必要だが、通勤時間ということで車両も多い。歩行者に注意することで停車することもあり、渋滞の原因となるので、完成によりスムーズな通過が期待できるので早期に完成させてほしい。	早期に開通できるよう事業を推進する。
8			
9			
10			